

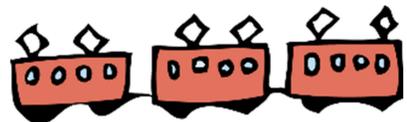
今のまちをより良
くするにはどうす
ればいい？

まちに対する
みんなの考えを
聞かせてね

今の子どもが大人
になった時にどんな
まちにしたい？

自分達が
できることは何？

令和7年度 下井草駅周辺地区 まちづくりオープンハウス

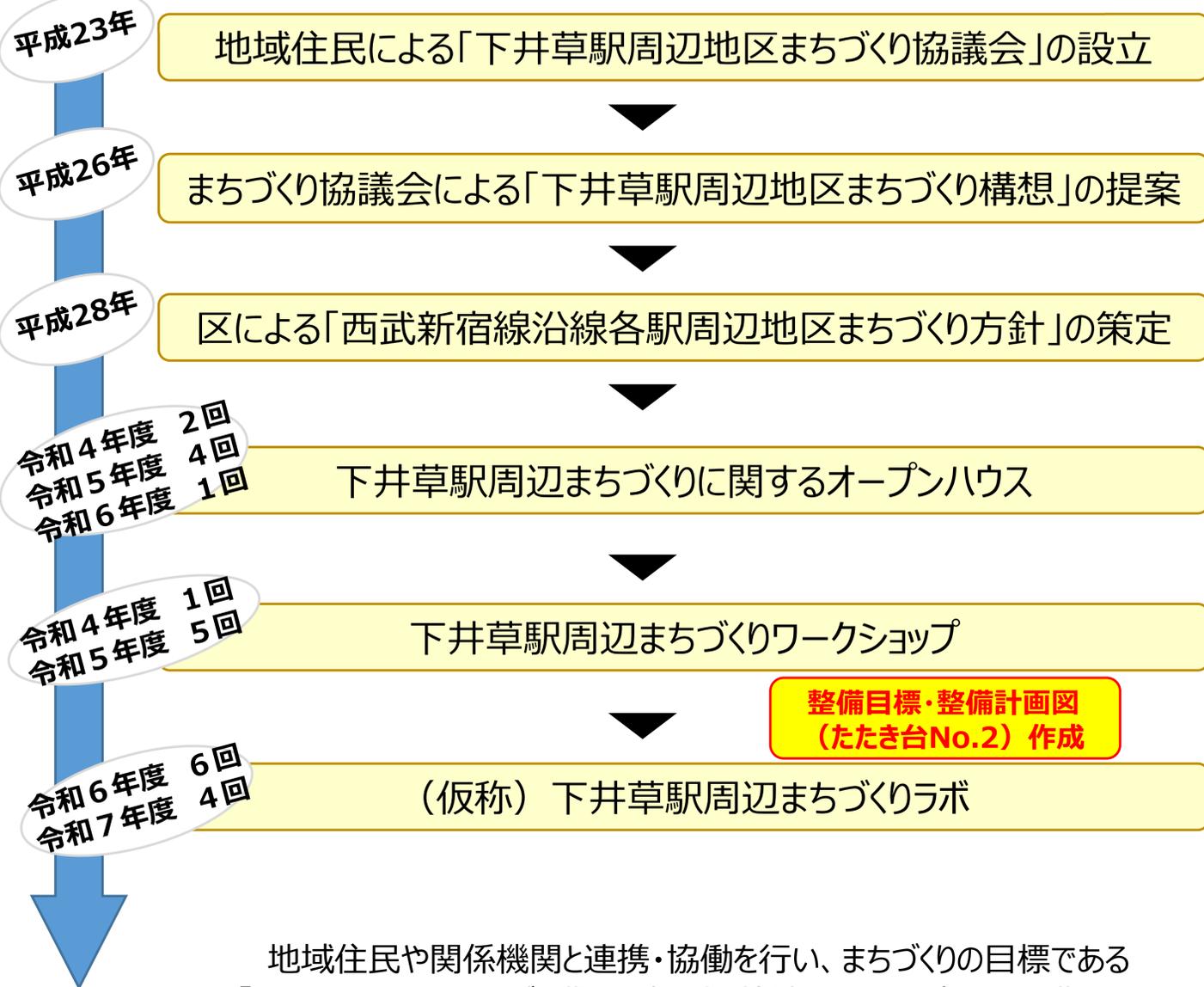


下井草駅周辺まちづくりについて、昨年度、参加者の皆さまから様々なご意見や
関心事をいただきました。今年度は、それらをさらに深掘りするため、テーマごとに分
けて（仮称）下井草まちづくりラボを全4回開催しました。

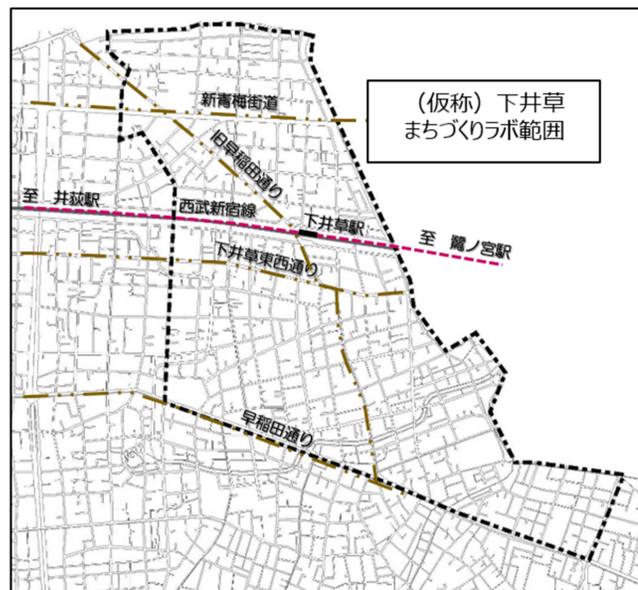
本日のオープンハウスでは、パネル展示を通して、今年度のラボでの取組内容を
共有するとともに、今後、まちの将来像を考えていくうえで、地域の皆様からご意見
を伺います。



これまでの取り組み



地域住民や関係機関と連携・協働を行い、まちづくりの目標である「人と人をつなぐ、みどり豊かな便利で快適なまち」の実現を目指します。



まちづくり方針分野別の基本的な考え方

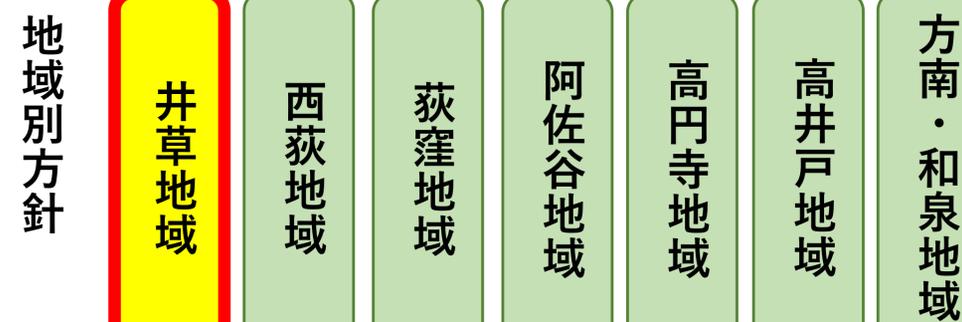
- 交通体系分野 (道路・交通)**
 - 交通結節点機能の強化
 - 交通ネットワークの形成
- 土地・建物利用分野 (商業・にぎわい)**
 - 駅周辺のにぎわい拠点形成
 - 適正な土地利用の誘導
- 住環境分野 (住環境・みどり)**
 - みどりの保全・育成
 - 防災・防犯まちづくり

上位計画による位置づけ

東京都市計画
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
(都市計画区域マスタープラン)

杉並区基本構想
○杉並区総合計画 ○杉並区実行計画
交通拠点である駅を中心に、地域の特性を生かした商業の活性化や生活利便性の向上を図り、にぎわいと多彩な魅力あるまちづくりを進める。

杉並区まちづくり基本方針
(杉並区都市計画マスタープラン)



西武新宿線沿線各駅周辺地区
まちづくり方針

沿線地域のまちづくり目標

人と人をつなぐ、
みどり豊かな便利で快適なまち

下井草駅周辺地区まちの将来像

にぎわいと良好な住環境が調和した、
安心して住み続けられるまち

令和4年度・5年度の取組み【整備目標・整備計画図（たたき台No.2）作成の経過】

下井草駅周辺まちづくりワークショップとは

地域の方々と、連続立体交差事業を見据えながら、道路・交通に関する課題の把握や解決に向けた意見交換を行う場です。
下井草駅周辺まちづくりワークショップでは、道路・交通施設整備計画策定に向けて、整備目標・整備計画図について、活発に意見交換を行いました。

第1回下井草駅周辺まちづくりワークショップ（令和4年12月）：まちの魅力と課題について意見集約

◆まちの魅力について

- 多方面へバスルートが通じているため、毎日の買い物に便利である。
- こじんまりした地元感がある。
- 個人のお宅のお庭のみどりが豊かで、散歩していて楽しい。
- みどりが多く、静かで子育てにとても良い。
- 住宅地として住みやすいので、開発等や大きな建物ができなくても良い。

◆まちの課題について

- 旧早稲田通りの歩道が狭く歩きづらい上に危険で、バス停の部分も狭く降りづらい。
- 旧早稲田通りは、バス停でバスが止まると渋滞になる。
- 旧早稲田通りは、幅員が狭いうえに電柱が歩道上にあるため、車椅子も通れない。
- 駅前の交通環境が悪い。バスや買い物客などで混雑する。
- タクシープールが駅にないため、タクシーを拾うことができない。

第2回下井草駅周辺まちづくりワークショップ（令和5年5月）：駅周辺のイメージや求める機能について

【道路・交通】

- 旧早稲田通りの安全性の確保（一方通行・歩道拡幅整備・電柱の地中化）
- 交通拠点であるが駅前の混雑が非常に多い
- タクシープールの確保（タクシー乗り場がなく不便）
- 安心安全な道路空間の確保（歩行者優先として交通規制を設ける等）

【住環境・みどり】

- 地域交流スペースの確保（まちなかでくつろげるベンチや空間、多世代交流拠点等）
- 防災機能の強化（核シェルターや備蓄倉庫等）

【商業・にぎわい】

- にぎわいの拡充（若者が集まる場所や地域イベント、太鼓祭りなど）
- 荻窪ほどのにぎわいは望まないが、住んでいる人の利便が図れるにぎわいの創出は必要

【交通機能】

- 北側：車両機能の集約（バス停留所、タクシープールや朝夕の送迎車乗降等）
- 南側：交流スペース（歩行者系広場・バリアフリー化）

第3回下井草駅周辺まちづくりワークショップ（令和5年6月）：駅周辺機能図5案の作成



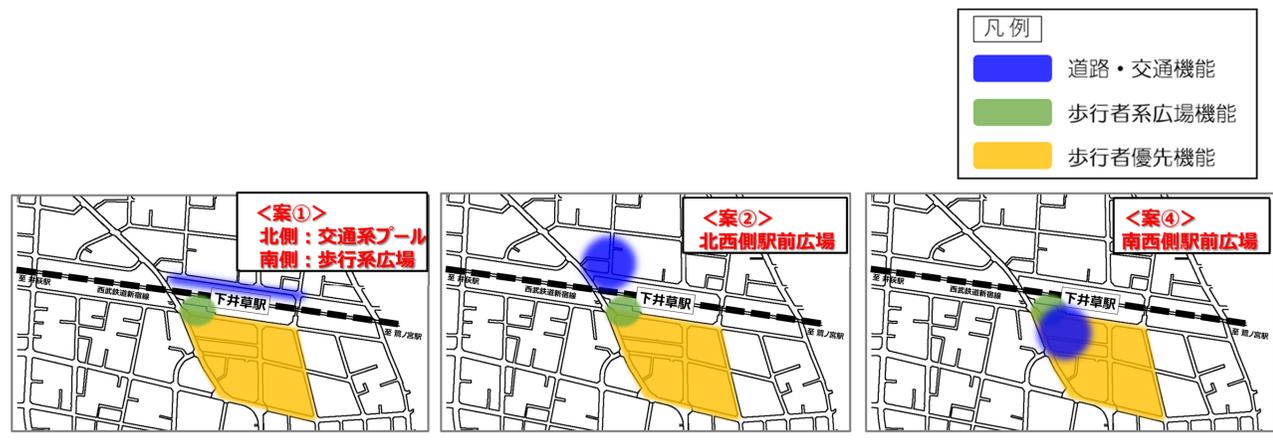
第4回下井草駅周辺まちづくりワークショップ（令和5年7月）

駅周辺交通機能の基本的な考え方の作成

■ 駅周辺における交通機能の基本的な考え方

- 交通機能の集約化（歩車分離）
- 安全な歩行空間の確保
- 人が集い溜まれる空間の創出
- 人中心の魅力あるにぎわい空間の創出
- 買収面積の最小化

駅周辺機能図3案への絞り込み



第5回下井草駅周辺まちづくりワークショップ（令和5年9月）

基本的な考え方の修正・整備目標作成（たたき台）

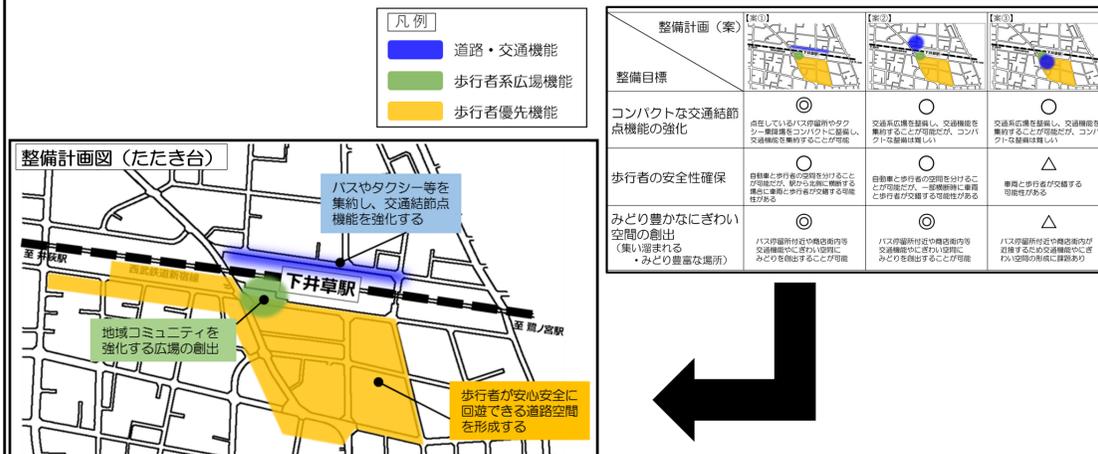
■ 駅周辺における交通機能の基本的な考え方

- 交通機能の集約化
- 安全な歩行空間の確保
- 人が集い溜まれる空間の創出
- 人中心の魅力あるにぎわい空間の創出
- 買収面積の最小化
- みどりの創出（第4回WS及びオープンハウスで頂いた意見）

整備目標（3つの柱）

- 1. コンパクトな交通結節点機能の強化**
・駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換利便性の向上を図る。
- 2. 歩行者の安全性確保**
・車中心から人中心の空間へと転換し、安心して通行できる道路空間を形成する。
- 3. みどり豊かなにぎわい空間の創出（集い溜まれる・みどり豊かな場所）**
・人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する。
・にぎわいを演出するみどりの空間を形成する。

整備計画図作成（たたき台）



令和4年度・5年度の取組み【整備目標・整備計画図（たたき台No.2）作成の経過】

第6回下井草駅周辺まちづくりワークショップ（令和6年1月）：整備目標および整備計画図の修正（たたき台No.2）

整備目標

1. コンパクトな交通結節点機能の強化

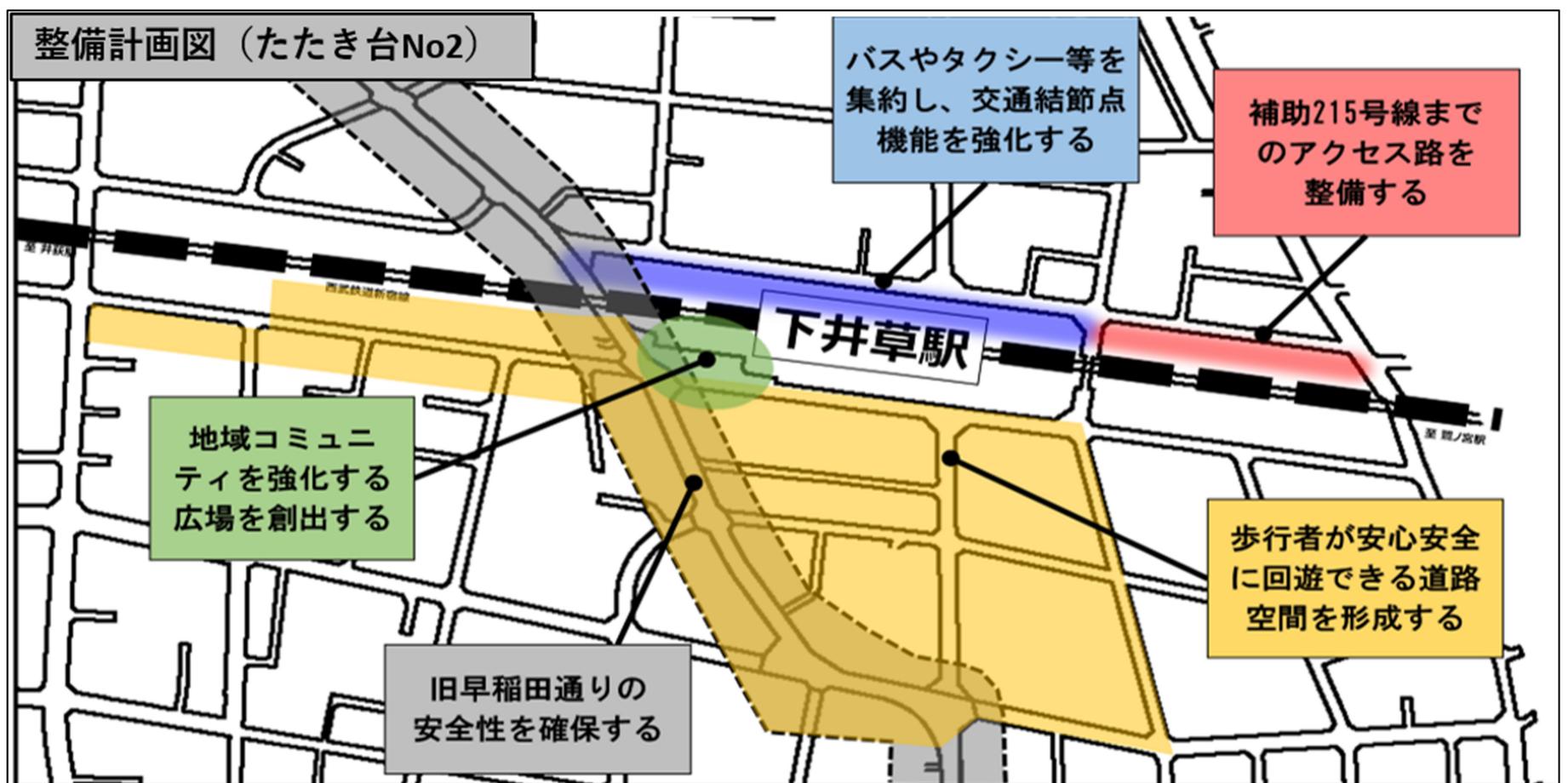
- ・ 駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換利便性の向上を図る。
- ・ 新しいモビリティの導入を図る。

2. 歩行者の安全性確保

- ・ 車中心から人中心の空間へと転換し、安心して通行できる道路空間を形成する。
- ・ 誰もが安心して快適に利用できるように、歩行者空間のユニバーサルデザインを導入する。

3. みどり豊かににぎわい空間の創出 （集い溜まれる・みどり豊かな場所）

- ・ 様々な人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する。
- ・ にぎわいを演出するみどりの空間を形成する。



令和5年度の『下井草駅周辺地区まちづくりオープンハウス』で実施したアンケート調査では、半数以上の方々から前向きのご意見をいただきましたが、

- ① 鉄道の構造形式が高架・地下どちらの場合も想定してたたき台を作成してほしい。
- ② もっとまち歩きをして現状を把握した上で、計画を策定してほしい。
- ③ ワークショップに参加した少人数だけで決めるのはいかがなものか。

等のご意見を伺いました。



幅広い世代の方々とのグループディスカッションに加えて、まちあるきや勉強会を開催し、自分たちのまちについて理解を深めながら、もう少し具体的に下井草駅周辺のまちの将来像を研究していく場として令和6年度より、『（仮称）下井草まちづくりラボ』を開催しました。

■ 令和6年度（仮称）下井草まちづくりラボの実施内容

幅広い世代の方々ともちあるきや勉強会、意見交換等を行い、連続立体交差事業を見据えた下井草駅周辺のまちの将来像等について研究する場として、（仮称）下井草まちづくりラボを開催しました。

（仮称）下井草まちづくりラボとは

地域の方々との連続立体交差化後の**まちの将来像等**について研究していく会です。公募等で参加いただいた地域の方々との意見交換を行い、連続立体交差事業を見据えた下井草駅周辺のまちづくりの方向性について、共有することを目的としています。

令和6年7月20日

第1回（仮称）下井草まちづくりラボ

- テーマ：**下井草駅周辺まちづくりの「これまで」と「これから」**
- 実施内容：これまでの下井草駅周辺まちづくりや今年度の取組内容について説明しました。その後、次回のまちあるきに向け、マップ作成のグループワークを行いました。

令和6年7月27日

第2回（仮称）下井草まちづくりラボ

- テーマ：**下井草駅周辺まちあるき**
- 実施内容：第1回（仮称）下井草まちづくりラボで作成したまちあるきマップをもとに、まちの魅力や課題等を再確認するため、まちあるきを行いました。

小・中学生夏休みまちづくりプロジェクト 令和6年8月8日

小・中学生を対象に、第1回・第2回（仮称）下井草まちづくりラボに参加した結果を踏まえ、「どんなまちに住みたいか」、「どんな施設が必要か」などについて意見交換し、将来のまちの模型づくりを行いました。

令和6年8月24日

第3回（仮称）下井草まちづくりラボ

- テーマ：**まちあるきの振り返り及び小・中学生の夏休みまちづくりプロジェクトの成果発表会**
- 実施内容：第2回で実施したまちあるき結果を参加者全体で共有するとともに、小・中学生が考えて作成した将来のまちの模型の成果発表を行いました。

令和6年9月21日

第4回（仮称）下井草まちづくりラボ

- テーマ：**連続立体交差事業及び下井草駅周辺まちづくりに関する勉強会**
- 実施内容：参加者が連続立体交差事業についての知識を深め、鉄道が高架化・地下化した際のまちの将来像をイメージするため、学識経験者を招き、連続立体交差事業及び駅周辺まちづくりについての勉強会を行いました。

令和6年10月26日

第5回（仮称）下井草まちづくりラボ

- テーマ：**連続立体交差事業及び駅周辺の事例視察**
- 実施内容：連続立体交差化完了後における駅前広場、ロータリー等の駅周辺の交通処理方式や鉄道が高架化・地下化した際のまちの将来像をイメージするため、連続立体交差事業及び駅周辺まちづくりについての事例視察を行いました。

令和6年11月30日

第6回（仮称）下井草まちづくりラボ

- テーマ：**令和6年度の振り返り及び令和7年度に向けて**
- 実施内容：下井草駅周辺まちあるきや、連続立体交差事業及び駅周辺まちづくりに関する勉強会・事例視察等、第1回～第5回（仮称）下井草まちづくりラボで開催した内容を振り返るとともに、来年度の活動に向けたグループワークを行いました。

令和7年度（仮称）下井草まちづくりラボの実施内容

各回の資料はこちら
(区公式ホームページ)
からご覧いただけます。



二次元コード

過年度の成果を踏まえ、まちの課題解決に向けた方針や取組の方向性について、各回テーマごとに掘り下げながら意見交換を行いました。また、各回の最後には、グループごとにまとめた意見や検討したアイデアを共有するため、回遊方式による発表を行いました。回遊方式では、各グループ、説明者と聞き手に分かれ、順番に他の班を回りながら説明を聞き、意見交換を行いました。

令和7年9月27日

第7回（仮称）下井草まちづくりラボ

- テーマ：**旧早稲田通りの安全化**
- 実施内容：旧早稲田通りの一方通行化や無電柱化等を踏まえ、模型を使用した横断面構成の検討や大判地図を使用したバスルートの考察を行い、課題解決に向けて意見交換しました。

令和7年10月25日

第8回（仮称）下井草まちづくりラボ

- テーマ：**駅前広場・交通結節点のあり方①**
- 実施内容：第7回の結果を踏まえ、参加者が自由に敷地を設定し、下井草らしい駅前広場のあり方について意見交換しました。

令和7年12月6日

第9回（仮称）下井草まちづくりラボ

- テーマ：**駅前広場・交通結節点のあり方②**
- 実施内容：第8回に引き続き、「駅前広場・交通結節点のあり方」をテーマに、下井草らしさに着目し、第8回で考えた駅前広場案をさらに深掘りするため意見交換しました。

令和8年1月10日

第10回（仮称）下井草まちづくりラボ

- テーマ：**みどりと景観**
- 実施内容：第9回で考えた駅前広場案を基とした、下井草らしい駅前広場および駅周辺のみどりと景観について意見交換しました。